

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Uプロミッション		
○保護者評価実施期間	7年 2月 26日		7年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	7年 2月 26日		7年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方に、ズンバや収穫体験、料理教室等の講師を務めてもらい、保護者の方の強みも生かすように取り組んでいます。その際に保護者交流会を開催して保護者間で、お話を聞かせていただく機会を設けています。	子どもに強みがあるように、保護者の方にも強みがあると考え、講師役を務めてもらいイベントを開催しています。その中で保護者交流会を開催し、保護者同士の交流を広げたり、職員とより良い関係を築けるように取り組んでいます。	防災士の資格を持つ保護者の方と防災活動などの取り組みも一緒に進めて行けたらと思います。
2	地域の施設や自然を活用した活動を行っています。	普段の活動場所で、子どもたちの力を十分に発揮できない時は、地域の体育館や広場、公園などを活用しています。また、地域のゴミ焼却場の見学に行くなど、自分達の住む地域の生活という部分の一部を知ってもらう活動に取り組んでいます。	今後は地元の企業などの見学や体験も行っていき、就労や就職などの部分も見据えて、取り組んでいきたいと思っています。
3	体操競技や書道の専門スタッフまた、競技用車椅子の専門スタッフを有して、専門的な技術指導や身体障害者に対する運動アドバイスを提供しています。また保育士資格を有する職員が子供の楽しめる運動プログラムを提供しています。	鉄棒や跳び箱、習字等学校で習うことに対して、事前や事後のアプローチができています。また身体障害者にスポーツ活動の提供やアドバイスを行えています。また、保育士資格を生かして、みんなが楽しめる運動プログラム等の提供をしています。	体操競技や習字、運動プログラムは継続して、アプローチしていきます。身体障害者のご利用者に対しては、実際の競技団体等の紹介をしていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今後、子ども立にあった、より楽しいプログラムの作成が必要と考えます。	アンケートにおいて、プログラムの内容について、どちらともいえないという回答が10%弱あります。発語や発信の少ないお子さんに対して、お子さんや保護者へのアプローチが少ないと考えています。	プログラムを組む際に、事前にお子さんの意見を聞いたり、発語が少なかったり、発言が苦手なお子さんに対して、好きなものや、やりたいことの情報を集めておくことが必要と考えています。
2	保護者の方を交えた研修会等の増加	現在、保護者交流会などは行っていますが、行っているかわからないと答える方も多く、情報発信の時期や方法が今後の課題と考えています。	長期的な計画を立てて、早めに保護者の方等に発信できるようにしていくことが必要と考えています。
3	事故マニュアルや防災マニュアルや、防災訓練などの情報発信等	事業所では作成していますが、保護者の方もあることが、わからないという方がいらっしゃるため、保護者の方への周知方法が課題と考えます。	HPでの公表や防災訓練を行った際は、SNSや広報誌での発信など、より周知できるようにしていきます。